

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大空小	学校	児童数	47
-----	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.11	17.32	35.89	35.84	33.95	9.63	144.68	22.53	49.06
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	15.50	19.75	42.16	39.71	37.52	9.12	150.17	17.88	59.45
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

実技別では、男子は長座体前屈、ソフトボール投げ以外で全国・大阪市を下回っており、体力・運動能力面で課題が見られる。一方、女子は握力以外の種目で全国・大阪市を大きく上回っている。質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答状況を見ると、肯定的回答の割合が男子は全国・大阪市を上回っているが、女子は全国・大阪市を下回っている。1週間の総運動時間のカテゴリー別では、男子は420分以上運動している割合が全国・大阪市より+28p高く、普段から運動に慣れ親しんでいることがわかるが、女子は0分と420分以上の割合が全国・大阪市より高いことから、二分化していることがわかる。以上から、男子は運動に対する興味・関心の高さが体力・運動能力の向上に繋がっておらず、女子はその逆の現象が起きていると考えられる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では持久力向上を目的として、休み時間に全校児童で駆け足に取り組む「体力アップタイム」に2週間取り組んだ。児童は個々で目標の周回数を設定し、自分に合った走り方や呼吸の仕方、ペースを見つけながら体力向上に取り組むことができた。

質問項目「どんなときに体育の授業が楽しいと感じますか」の「楽しい」と回答した項目を見ると「記録に挑戦したり記録があがったり、競い合ったりしたとき」が対全国・大阪市比較で男子が-10p、女子が-30pと大きく下回った。また、「体育の学習では、進んで学習に参加していますか」の最も肯定的回答の割合は、対全国・大阪市比較で男女ともに-12pであった。以上の課題から、児童が主体的に目標（値）を設定して体力・運動能力向上に取り組む体育学習の展開等、教員の授業改善に取り組む必要がある。また、日常的に児童が運動に慣れ親しむことができる運動環境の整備にも力を入れて取り組んでいく。